

## Dominion® KX II-101



このたびは業界最高峰エンタープライズ向けデジタル KVM 製品 Dominion® KX II-101 をご購入いただき、誠にありがとうございます。このリリースノートでは、互換性、機能の紹介、注意点、アップグレード方法についての情報をご提供いたします。より詳しい情報については、Raritan Web サイトの「Product Documentation Support」にごさいますクイックセットアップガイドやユーザガイドをご参照ください。

リリースノートバージョン: 1.3  
公開日: 2009年9月30日  
発効: 即日

### 適用対象

本2.0.40 リリースは、新Dominion KX II-101(DKX2-101)に適用されます。

---

注: Dominion KX I-101 とは、従来の Dominion KX101(DKX101)のことを指します。

---

DKX リリース2.0 は、従来のDominion KX I-101 には適用できません。

### リリースステータス

一般提供

### コンテンツの有効期限

本リリースノートは、一般提供用の次期リリースがRaritan のWeb サイトで発表された時点で適用対象外となります。DKX2-101 のファームウェア、リリースノート、ユーザガイド、およびRaritan のマルチプラットフォームクライアント(MPC)のスタンドアロンバージョンの最新版については、Web サイトにてご確認ください。

<http://www.raritan.com/support/Dominion-KX-II-101>

### Dominion KX II-101 のマニュアル

Dominion KX II-101 では下記のマニュアルがご利用可能です。:

- Dominion KX II-101 ユーザガイド – DKX2-101 のローカルおよびリモートブラウザのためのユーザガイドで、DKX2-101 の一般的な使用方法についても説明しています。
- KVM と Serial Access Clients ユーザガイド – DKX2-101 で MPC を使用する場合はこのユーザガイドをご覧ください。
- Dominion KX II-101 クイックセットアップガイド – DKX2-101 を簡単にセットアップするための参考資料です。



DKX2-101 のマニュアルは、Raritan のWeb サイトから入手ができます。

DKX2-101 ユーザガイドの最新版は、DKX2-101 のユーザインタフェース(リモートコンソールの左側のインフォメーションパネル)から入手できます。

## リリース 2.0.40 互換情報

### Raritan CommandCenter Secure Gateway

- この KX II-101 バージョン 2.0.40 は現在の CC-SG 互換性表には載っていませんが、CC-SG3.2, 4.0, 4.1, そして 4.2 でサポートされます。CC-SG3.2.1 は、DKX2-101 の新モデルをサポートする最初のリリースです。以前の CC-SG リリース(2.3、3.0、3.1 など)を利用している場合は、CCSG3.2.1 へアップグレードする必要があります。
- CC-SG をプロキシモードで使用している場合、メニュー「管理」→「アプリケーション」の「デフォルトのアプリケーション」タブ内で KVM 用のアプリケーションとして Virtual KVM Client(VKC)を指定する必要があります。Multi Platform Client(MPC)はプロキシモードではサポートされません。またプロキシモードでは仮想メディア機能はサポートされませんのでこちらもご注意ください。

### Raritan Virtual KVM クライアント(VKC) v.2.0.40

- ブラウザベースのリモートユーザインタフェースから呼び出される Java ベースのクライアント

### Raritan マルチプラットフォームクライアント(MPC) v.6.0.3

- Raritan の従来のユーザインタフェースを持つ最新の Java ベースの MPC

### Raritan リモートクライアント(RRC)

- RRC は DKX2-101 デバイスをサポートしていません。

### Sun Java™ Runtime Environment (JRE)

- SUN Java™ Runtime Environment (JRE) versions 1.5 と 1.6 はサポートされています。
- *SUN Java Runtime Environment (JRE) 1.4.x は現在サポートされておられません。*
- JRE version 1.5.0\_02 はサポートされません。JRE 1.6 にて現在検証確認されているのは JRE 1.6.0\_01 から 1.6.0\_14 となります。ただし JRE version 1.6.0\_05 (update 5) を英語環境以外で使用する場合、ログインに問題が起きる場合があるので推奨されません。
- 最良の結果を得る為に、Java キャッシュは無効化することを推奨いたします。
- クライアント PC に JRE がインストールされていない場合もしくは JRE バージョンが 1.5 よりも低い場合にはメッセージが表示され、SUN Java Web サイトにリダイレクトされ最新バージョンのインストールを促されます。

- 韓国またはその他の非英語言語をサポートする為には JRE のインストールにて multi language option(多言語オプション・国際化オプション)が要求されます。"カスタム"JRE インストールの場合、"Support for Additional Languages"がインストールプロセスに含まれていることを確認してください。

## Raritan SNMP v2 MIB

- このファームウェアリリースにおいて SNMP MIB の変更はありません。しかし KX II v2.0.40 リリースの為に最新の Dominion KX II SNMP v2 MIB は米国 Raritan Web サイトのファームウェアアップグレードセクションに公開されています。もし KX II-101 の SNMP トラップを有効化している場合、あなたの SNMP 管理システムにこれを読み込ませてください。

## 確認されたクライアント PC

DKX2-101 は、以下のシステムおよびアプリケーションで検証されています。DKX2-101 を最適のパフォーマンスでご使用いただくため、これらのバージョンを利用することをお勧めします。

OS / Browser / JRE		
Windows 2000 SP4	Internet Explorer 6.0	JRE 1.5.0_15
Windows 2003	Internet Explorer 6.0	JRE 1.5.0.15
Windows XP Professional SP2	Internet Explorer 6.0	JRE 1.6.0_07
Windows Vista	Internet Explorer 7.0	JRE 1.6.0_06
	Internet Explorer 8.0	JRE 1.6.0_07
	Internet Explorer 8.0	1.6.0_13
Windows 7	Internet Explorer 8.0	1.6.0_14
RHEL 5.3	Firefox 3.0.5	JRE 1.6.0_13
FC 10	Firefox 3.0.4	JRE 1.6.0_12
SuSe Linux Pro 11	Firefox 3.0.6	JRE 1.6.0_12
MAC OS 10.5.7	Safari 3.2.3	JRE 1.5.0_16

## リリース 2.0.40 の特徴

1. Radius 外部認証プロセスの冗長化
2. Microsoft Windows ローカルセキュリティ設定での FIPS 準拠アルゴリズムの暗号化をサポート

## 2.0.40 での修正・改良箇所

- より高いセキュリティの為に VeriSign 署名証明の更新
- デバイス名に使用可能な文字数が 32 文字まで拡張
- 外部認証ユーザによる Direct Port Access(DPA)接続



- 外部認証ユーザによるシリアルポートアクセス
- NAT 環境での Direct Port Access

### リリース 2.0.20 の特徴

1. ユーザ定義による KX II-101 USB プロファイル
2. アナログ KVM スイッチ(MCC, MX, MXU, Switchman)へのフロントエンド使用
3. 向上されたモデム有用性
4. サマータイムへの対応
5. CC-SG リリース 4.0.0 への対応

### 過去のリリースからの特徴

1. ローカルポート
2. Universal Virtual Media(仮想メディア)
3. Absolute Mouse Synchronization™(ずれないマウス機能)
4. Raritan のブラウザベースの共通ユーザインタフェース
5. CC-SG Release 3.2.1.による Command Center Secure Gateway のサポート
6. 次世代標準暗号化方式 Advanced Encryption Standard (AES)暗号化アルゴリズム
7. 1600x1200 のリモートおよびローカルサーバのビデオ解像度(1600x1200x60)。サーバのビデオ解像度のサポート範囲を拡大。
8. 管理者による設定が可能な「強力なパスワード」チェック機能
9. バックアップおよびリストアの新オプション
10. 新たに DPX と現行のリモート電源制御ストリップのサポート。
11. 設定可能なファクトリリセットボタン
12. PC Share モード、内部および外部 (LDAP, Radius) 認証、カラーモード、SNMP, Syslog, ビデオスケーリング、フルスクリーンモードなど、従来の DKX I-101 が持つほぼ全ての機能を利用可能

### 重要な留意事項および情報

1. KX II-101 に Secure LDAP 証明を使用した認証が設定されている場合、リリース 2.0.40 にアップグレードした後はその再インストールが必要となります。(CR#16277)
2. Apple Mac クライアントではダイレクトポートアクセス接続を開くことはできません。(CR#12918)
3. Windows OS では、マウントした仮想メディアドライブの接続を終了する際、ターゲットサーバでシステムトレイの「デバイスの安全な取り外し」機能は使用しないでください。仮想メディアのメニューから「Disconnect(切断)」コマンドを使用して切断します。
4. 安定したネットワーク通信のために、DKX2-101 と LAN スイッチは、LAN インタフェースの速度及び二重化の設定を一致させてください。たとえば、両者ともに Autodetect(推奨)にする、もしくは両者ともに 100Mbps/全二重などの一定の速度/二重化に設定します。
5. 仮想メディアの全ての機能をサポートするサーバや OS には制限があります。一般的に、最近の Windows® OS (Windows Vista™、2003 Server、XP、Windows 2000 の最新パッチ) では全ての機能を使用できます。Linux や Mac OS を実行しているターゲットサーバに Windows クライアントからアクセスする場合は、CD/DVD ドライブ、USB ドライブ、および ISO イメージのマウントが可能です。

Mac®, Linux および Solaris™ クライアントでは、ローカルまたはリモートドライブから ISO イメージのみマウントすることができます。その他の UNIX ベースの OS では、通常、仮想メディアはサポートされません。仮想メディアは 64 ビット版 Windows7 インターネットエクスプローラ 8 ではサポートされませんが、32 ビット版ではサポートされます。

6. 仮想メディアドライブがマッピングされた BIOS に接続する際、BIOS がハイスピード USB をサポートしていない場合には、「Port Configuration(ポート設定)」ページで「Use Full Speed (フルスピードを使用)」オプションを有効にし、ターゲットサーバをリブートします。
7. 一般に、BIOS によって USB2.0 規格の実装状況が異なるため、仮想メディアドライブから BIOS レベルで常にブートできない場合があります。
8. ずれないマウス機能は OS によるサポートが必要です。通常、Windows および Mac OS ではサポートされますが、Linux や UNIX ベースの OS(HP-UX、Solaris) ではサポートされません。
9. Virtual KVM クライアント(VKC)のパネルが開いているときは、クライアントや関連するブラウザのタブおよびウィンドウが、ユーザ入力を待っている状態ですので、入力後パネルを閉じてください。
10. Web ブラウザの更新またはリロード機能/ボタンを使用する際は、VKC セッションが閉じられることがありますのでご注意ください。
11. DKX2-101 を Raritan のリモートパワーストリップ(Dominion PX)に取り付けるには、ラリタン型番 : DKX2-101-SPDUC のケーブルを別途購入する必要があります。パワーストリップには付属していません。
12. AES 暗号化を使用する際は、まずお使いの Web ブラウザが対応していることを確認し(全てのブラウザが対応しているとは限りません)、「Security Settings(セキュリティ設定)」パネルで Encryption mode(暗号化モード)を「AES」に設定します。「Auto(自動)」に設定すると、通常は RC4 暗号化が適用されます。
13. DKX2-101 の管理機能の一部は、CC-SG から利用することができます。全ての機能を利用するには、CC-SG の Pause Management(管理の一時停止)機能を使って、DKX2-101 デバイスを一時的に CC-SG の管理から外します。これにより、DKX2-101 のリモートコンソールでその他の管理機能へアクセスできるようになります。
14. 日本語環境において VKC/MPC で Windows を使用する際、「Alt + カタカナひらがなキー」(ローマ字・かな入力変換)の組み合わせ操作が効かない場合があります。その場合は言語バーなどからの切り替えをお願いいたします。

## 一般的なアップグレード方法

これらの手順はブラウザベースユーザインタフェースからのスタンドアロン環境に適用されます。

---

注意: もし何か疑問がある場合、または下記事前要件とそぐわない場合は、アップグレードを中止し、ラリタンテクニカルサポートに連絡して情報を取得してください。また実施する前にこのドキュメント全体をご一読ください。

---

1. ログインユーザやアクティブセッションが確実に無い状態にする為に、ファームウェアアップグレードを行う前に KX II-101 をリブートしてください。
2. Dominion KX II-101 ユニットのアップグレードする為に、実施するユーザのユーザアカウントはデフォルトの Admin グループに所属してアップグレードの権限を持つ必要があります。
3. アップグレードが完了するには約 10 分の時間が必要です。
4. システムはファームウェアアップグレード完了までの予測時間を表示します。ただしネットワーク状態その他の要因によりそれより多くの時間がかかる可能性があります。

- アップグレードを開始する前に、リモートコンソールのメニュー「Maintenance」→「Backup / Restore」で KX II-101 のバックアップの取得を推奨いたします。
- サーバ、パワーストリップ、シリアルデバイス等と接続されている全てのリモート/ローカル KX II-101 セッションを閉じてください。
- もしファームウェアアップグレードを VPN 経由で実施している場合、接続が安定している事、および接続タイムアウトがセットされていない事を確認してください。
- アップグレード実施の詳細な手順は下記にございます。
- ソフトウェアアップグレードの内容はフラッシュメモリに書き込まれ、完了まで時間を要します。アップグレードの途中でユニットの電源を切ったり、イーサネット接続を切断しないでください。
- KX II-101 へのファームウェアアップグレードは CC-SG から可能です。詳細は CC-SG のドキュメントを参照してください。
- もしアップグレードに関して困難な状況が起きた場合には、ラリタンテクニカルサポートにご連絡ください。

### アップグレード手順：

- ログインユーザやアクティブセッションが確実に無い状態にする為に、ファームウェアアップグレードを行う前に KX II-101 をリブートしてください。
  - Internet Explorer (または他のサポートされた Web ブラウザ)において Dominion KX II-101 ユニットの IP アドレスを入力し、ウェブベースインタフェースが読み込まれるのを待ちます。
  - 管理者ユーザである「admin」(または Admin グループに所属する別ユーザアカウント)でログインします。
  - メニュー「Maintenance」→「Firmware Upgrade」を選択します。
  - 「.rfp」拡張子を持つアップグレードファイル(例：DominionKXII-101Firmware2.0.40.rfp)を参照し、「Upload」ボタンを押します。アップグレード前と後のバージョンが表示されるので「Upgrade」ボタンを押してアップグレードを開始します。
  - ファームウェアアップグレードが進行します。
    - アップグレード中の KX II-101 の操作はできません。
    - アップグレードの進捗が画面に表示されます。アップグレードには 5 分またはそれ以上の時間がかかります。
- 
- KX II-101 がアップグレードまたはリブートを実行している時に、リブート操作または電源の入れ直しは行わないでください。
- 
- アップグレード完了時には完了のメッセージが現れます。
- デバイスがリブートし、リセットされます。(約 5 分)
  - Web ブラウザセッションを閉じ、リブート完了後に再度アクセスします。
  - KX II-101 ログイン画面が表示されます。
  - 再度 Web ブラウザからログインし、メニュー「Maintenance」→「Upgrade Report」からアップグレード状況を確認します。
  - アップデート中に疑問や問題がある場合はラリタンテクニカルサポートにご連絡ください。

## **Additional Information**

For more information about the KX II-101 and the entire Raritan product line, refer to the Raritan User Guide & Quick Setup Guides CD ROM or Raritan's website <http://www.raritan.com/support>. For technical issues, contact Raritan Technical Support by telephone (732) 764-8886, fax (732) 764-8887, or email [tech@raritan.com](mailto:tech@raritan.com), Monday - Friday 8:00 AM to 8:00 PM EST.

### ※ 本日本語版に関してのご注意

本ドキュメントは英語版をもとに作成されており、もし英語版とこの日本語版で相違があった場合は英語版が優先されます。英語版についてもぜひご確認ください。

<http://www.raritan.com/support/Dominion-KX-II-101>

This note is intended for Raritan customers only; its use, in whole or part, for any other purpose without the express written permission from Raritan, Inc. is prohibited.

Copyright ©2009 Raritan, Inc. CommandCenter, Dominion, and the Raritan company logo are trademarks or registered trademarks of Raritan, Inc. All rights reserved. Solaris and Java are trademarks of Sun Microsystems, Inc. Windows and Windows Vista are trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation. Mac and Safari are trademarks or registered trademarks of Apple Inc. All other marks are the property of their respective owners.